

年頭のごあいさつ



鞍手町長 岡崎邦博

新年 あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

早いもので、平成30年9月に町民の皆様への負託を受け町長に就任して1年4か月が経過し、2度目の新年を迎えることとなりました。この間、町政の推進に寄せられました温かいご支援とご協力に対し心からお礼を申し上げます。

さて、昨年の出来事を振り返ってみますと、5月に元号が平成から令和へと変わり、新たな時代の幕開けを迎えました。天皇家下御即位に伴うさまざまな公式行事が行われ、その厳かな儀式を、テレビを通してではありますが、

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

令和2年元旦

大変感動しながら拝見させていただきました。

また、スポーツにおいては、さまざまな種目の世界大会において日本選手たちが活躍する場面が多くありました。その中でもラグビーワールドカップでは、日本代表チームがベスト8入り、日本初となる決勝トーナメント進出を成し遂げたことは、国民に勇気と感動を与えてくれました。

ただ、喜ばしいことばかりではありませんでした。地球温暖化に伴う近年の異常気象は、毎年のように大雨や大型台風が各地に襲いかかり、多数の被害が発生しております。台風15号や19号は、関東や東北地方に大きな災害を残しており、改めて自然の脅威を認識

させられる年でもありました。

本町は、幸いにも大きな被害は発生しておりませんが、一昨年の7月豪雨の経験を活かし、防災・減災に対する取り組みの強化を行っているところで

す。昨年12月には6年ぶりに大規模な避難訓練を実施いたしました。まだまだ多くの課題はありますが、その課題を解決するため引き続き訓練を重ね、万が一の災害に備えていきたいと考えております。

そのほか、町民の皆様にお約束しました鞍手町の財政的な現状を多くの皆様にご理解いただくため、昨年6月に「なるほど！納得！町の予算」として冊子を作成し、全戸配布して町の予算

のしくみやお金の使われ方などをわかりやすく説明させていただきました。

また、厳しい財政状況ではありますが、未来の鞍手町を背負っていく子どもたちにより良い教育環境を提供することを優先し、すべての小学校校舎の普通教室に空調設備を取付けました。

本年から地方独立行政法人くらすて病院の本体工事がスタートします。一時、内科医師の退職により町民の皆様に変ご迷惑をおかけいたしました。内科医師の確保も進み、町民の皆様が安心して受診していただける医療体制を整い始めております。令和3年春には、新しくらて病院として本町だけでなく周辺地域の中核病院として、さらに充実した医療を提供できるよう、河野公俊

理事長をはじめ職員が一丸となって取り組みでいただいているところ

です。また、町の発展には道路整備は不可欠であります。

北九鞍手夢大橋への接続道路につきましては、これまで歪な形状でありましたが、ようやく直進性のある本来の接続道路へと整備が進み、本年3月末には供用開始できる見込みとなりました。

さらに、鞍手インターチェンジのアクセス道路として県道直方鞍手線の延伸工事も着々と進んでおります。これらの道路整備により安全性・利便性が

向上し、地域間交流を見据え、企業誘致、住宅団地の整備、商工業の振興など大動脈の一つとして町の発展にも大きく貢献するものと期待しております。

今年、町民の皆様が直接参加できる開かれた町政の実現を目指し、町民の皆様と共に知恵を出し合い、小さくても心豊かで幸福度、満足度が高く、自信と誇りの持てる町にしていくことを目標に、クリーンでしがらみのない町政の実現に邁進して参りますので、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

終わりに、新しい年が町民の皆様と鞍手町のさらなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

